

## 令和6年度 建設部組織目標

所属 部・局 建設部

### 【建設部行動指針】

住民満足度（QOL）の向上につながる住環境を整える

～ 個人のスキルアップとチームワークで結果を残そう！～


No.	組 織 目 標（土木管理課）	ページ
1	住み慣れた地域で安全・安心に暮らせる基盤の維持・整備を推進する	1
2	個人資産の保全や流動化・利活用に役立つ地籍調査を推進する	3

No.	組 織 目 標（都市住宅課）	ページ
3	住み心地のいい魅力あるまちづくりを推進する	4
4	市営住宅の有効活用と民間住宅の耐震化を推進する	5


No.	組 織 目 標（上下水道課）	ページ
5	「おいしい水」を持続的・安定的に提供する	6
6	「清潔で快適な下水道サービス」を持続的・安定的に提供する	7
7	し尿及び浄化槽汚泥の衛生処理機能の安定を図る（市民環境部と連携）	8









## 令和6年度 運営目標


1	住み慣れた地域で安全・安心に暮らせる基盤の維持・整備を推進する SDGs 目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう	
運営目標	<p>① 【施策】</p> <p>生活に身近な道路・水路等をスピード感をもって適切に維持管理する。</p> <p>【達成すべき指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会要望の2ヶ月以内回答率 : 100%</li> <li>・自治会要望の対応率 R5 : 43.0%(67/156) → 45%</li> <li>・道路等被災情報LINE アプリ緊急通報 試験運用</li> </ul> <p>「行かなくてもいい市役所、行政手続きのオンライン化拡大」</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① R6 年度要望の現地確認 要望書受理から1か月以内</li> <li>② 対策の可否及び優先順位の判断 現地確認から2週間以内</li> <li>③ R6 年度要望書作成・回答 ②から2週間以内</li> <li>④ R6 年度要望対応着手 ③から2か月以内</li> <li>⑤ 道路等被災情報LINE アプリの試験導入</li> </ul>	
	<p>② 【施策】</p> <p>安全で安心な歩行空間の確保と橋梁長寿命化を推進する。</p> <p>【達成すべき指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路交通安全プログラムに基づく整備率(延長換算) R5: 76.4%→86.2%</li> <li>・橋梁長寿命化修繕計画に基づく整備率 R4: 14.1% → 15.2% (大雲橋の整備 R6 完成)</li> </ul> <p>※ 総合計画数値目標 橋梁修繕実施率 R1: 3% ⇒ R7: 31%</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 現地踏査及び関係者協議(境界確認含む) 設計2か月前</li> <li>② 当初予算分(工事)の9月末までの発注 : 発注率(件数ベース) 80%</li> <li>③ 執行管理の徹底(課内工程協議) : 毎月開催</li> <li>④ 課題・懸案の早期解決 : 事象発生から1週間以内処理</li> </ul> <p>※ 事業の継続的な推進のため、有利な財源確保の研究</p> <p>※ 都市下水路、河川整備等その他の工事発注における取組・手段等も同様</p>	

<p>③</p>	<p><b>【施策】</b></p> <p>国・府の大型事業の早期実現を推進する。</p> <p><b>【達成すべき指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・由良川河川整備促進 【国】</li> <li>・国道 178 号（里波見～長江）道路整備促進 【京都府】</li> <li>・丹後郷土資料館整備に向けたアクセス道の整備促進【京都府・宮津市】</li> <li>・大雲川・神子川の整備促進 【京都府】</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 由良川治水促進同盟会による要望活動の実施 由良川河川整備推進に伴う内水対策計画の策定</li> <li>② 国道 178 号（宮津市日置～伊根町）強靱化促進期成同盟会による要望活動の実施と環境影響調査（冬・春）実施に向けた漁業関係者等、地元調整</li> <li>③ 国道 178 号、市道西大門彼岸線との交差点改良に係る地元調整等</li> <li>④ 大雲川・神子川の早期事業着手に向けた地元調整 大雲川：用地買収 神子川：建物調査及び地元調整</li> </ol>										
<p>④</p>	<p><b>【施策】</b></p> <p>浸水・内水被害の軽減に向けた市街地の都市下水路の整備を推進する。</p> <p><b>【達成すべき指標】</b></p> <p>○城東・辻町地区の浸水被害軽減に向けた整備計画の策定 R7.3 月</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>① 必要な施設の選定</td> <td>第 1 四半期</td> </tr> <tr> <td>    ・河川・下水路等のリスト作成及び要因整理</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 浸水・内水被害の資料整理（罹災証明等を活用）</td> <td>7 月</td> </tr> <tr> <td>③ 整備における概算事業費の算出     （城東・辻町地区のみ）</td> <td>10 月</td> </tr> <tr> <td>④ 優先順位の整理（庁内協議）</td> <td>11 月</td> </tr> </table> <p>※R8 の公営企業会計移行に向けた庁内協議・準備</p>	① 必要な施設の選定	第 1 四半期	・河川・下水路等のリスト作成及び要因整理		② 浸水・内水被害の資料整理（罹災証明等を活用）	7 月	③ 整備における概算事業費の算出 （城東・辻町地区のみ）	10 月	④ 優先順位の整理（庁内協議）	11 月
① 必要な施設の選定	第 1 四半期										
・河川・下水路等のリスト作成及び要因整理											
② 浸水・内水被害の資料整理（罹災証明等を活用）	7 月										
③ 整備における概算事業費の算出 （城東・辻町地区のみ）	10 月										
④ 優先順位の整理（庁内協議）	11 月										


2	個人資産の保全や流動化・利活用に役立つ地籍調査を推進する SDGs 目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう													
運営目標	①	<p><b>【施策】</b></p> <p>新規地区（由良駅裏）の地籍調査を推進する。</p> <p><b>【達成すべき指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地権者説明会の開催 2月末</li> <li>・地籍調査実施計画（10ヶ年）の見直し</li> <li>・地籍調査成果簿（未認証地区 約7000筆）の法務局送付 3月末</li> </ul> <p>※ 総合計画数値目標 地籍調査進捗率 R1：77.52% ⇒ R7：85.39%</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>① 委託業務の早期発注</td> <td>6月</td> </tr> <tr> <td>② 認証請求（H18,H19,H21）</td> <td>6月末</td> </tr> <tr> <td>③ 筆界資料整理</td> <td>7月末</td> </tr> <tr> <td>④ 推進委員会</td> <td>8月</td> </tr> <tr> <td>⑤ 相続調査完了</td> <td>11月</td> </tr> <tr> <td>⑥ 地元説明会</td> <td>2月</td> </tr> </table> <p>※ 並行して R7 年度の新規地区に向けて準備（相続調査）作業を実施</p>	① 委託業務の早期発注	6月	② 認証請求（H18,H19,H21）	6月末	③ 筆界資料整理	7月末	④ 推進委員会	8月	⑤ 相続調査完了	11月	⑥ 地元説明会	2月
① 委託業務の早期発注	6月													
② 認証請求（H18,H19,H21）	6月末													
③ 筆界資料整理	7月末													
④ 推進委員会	8月													
⑤ 相続調査完了	11月													
⑥ 地元説明会	2月													


3	住み心地のいい魅力あるまちづくりを推進する SDGs 目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう 目標11 住み続けられるまちづくり 目標17 パートナーシップで目標を達成	  
運営目標	①	<p>【施策】 魅力的なまちの創造と開発事業者等の土地利用を推進する。</p> <p>【達成すべき指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画道路（本町宮津停車場線）及び無電柱化路線（笠松公園線、宮津養父線）の整備促進</li> <li>「開発行為等に関する指導要綱」の廃止</li> <li>都市計画関係情報のオープンデータ充実・電子申請割合の増加 都市計画情報 HP 閲覧数 R5：8 件/日 → R6：10 件/日 電子申請手続き割合 R5：23%（3/13 件）→ R6：50%</li> </ul> <p>「行かなくてもいい市役所、行政手続きのオンライン化拡大」</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 道路整備に向けた京都府協議・要望活動</li> <li>② 開発指導要綱に代わる盛土規制法の内容周知（指導要綱廃止周知）</li> <li>③ オープンデータの充実、電子申請手続きの周知・誘導</li> </ol>
	②	<p>【施策】 都市公園利用者の満足度向上と賑わいを創出する。</p> <p>【達成すべき指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有料施設利用件数3%UP (R5：589 件 19,868 人→R6：610 件 20,500 人)</li> <li>行為許可（イベント利用）件数増 R5：38 件→R6：40 件</li> <li>公園内事故発生ゼロ件</li> </ul> <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 長寿命化計画の本格運用までの都市公園の適切管理と有効活用</li> <li>② 関係団体等と連携した公園施設・オープンスペースの新たな利用創出</li> <li>③ 民間活力誘致活動（3公園）</li> </ol>
	③	<p>【施策】 景観まちづくりを推進する。</p> <p>【達成すべき指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>修景助成 3件</li> </ul> <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 景観規制の適切な指導（誘導）</li> <li>② まちなみ修景助成の早期募集とPR強化、建物所有者や設計者等への修景アドバイス実施</li> </ol>

4	<p>市営住宅の有効活用と民間住宅の耐震化を推進する SDGs 目標 1 貧困をなくそう 目標 11 住み続けられるまちづくり 目標 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>	  
運営目標	①	<p>【施策】 公営住宅等長寿命化計画に基づき市営住宅を管理する。</p> <p>【達成すべき指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市営住宅の入居率 R5：66.2% (302/456 戸) → 67% (305/455 戸) (分子：+タヶ丘 3、宮村 1、のぞみが丘 1、東波路 1、城東タウン 10※、△退去想定 13⇒+3) (分母：△のぞみが丘 1=△1)</li> <li>城東タウン入居戸数 R5 末 38 戸 → 45 戸 (うち社宅利用 11/11 戸) ※+R5 リハ<sup>1</sup> 1、R6 リハ<sup>3</sup> 3、社宅 6=10、△退去想定 3 ⇒ +7 戸</li> </ul> <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>みやづ城東タウンの有効活用 (早期発注・募集・プロモーション強化)</li> <li>公募対象団地の適切管理・募集 (6月、11月) と PR の強化</li> <li>市営住宅払い下げ・除却 (柳縄手) の推進</li> <li>遊休団地 (タヶ丘団地跡地ほか) の売却に向けた取組</li> <li>文珠団地入居者の移転誘導</li> </ol>
	②	<p>【施策】 住宅使用料を公平・公正に徴収する。</p> <p>【達成すべき指標】</p> <p>住宅使用料の現年分収納率 99% ( R5 年度分 4/30 時点実績 98.4%) 現年度分滞納者 10 人未満 (参考 R4 年度分：16 人)</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>督促状送付と電話による納付指導の徹底</li> <li>催告状・呼出状の送付</li> <li>現年度分悪質滞納者への措置強化 (警告文書、分納誓約、法的措置等)</li> </ol>
	③	<p>【施策】 住宅等の地震対策と長寿命化を推進する。</p> <p>【達成すべき指標】</p> <p>耐震診断件数 20 件 耐震改修助成件数 7 件</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>木造住宅耐震診断、耐震改修助成の実施、建替促進</li> <li>補助制度の PR 強化、耐震相談会、DM 送付、府との連携など啓発活動の例年以上の充実</li> </ol>

5	<p>「おいしい水」を持続的・安定的に提供する SDGs 目標6 安全な水とトイレを世界中に</p>	
運営目標	<p>① 【施策】 水道事業の健全経営と利便性向上につながる事業運営を推進する。</p> <p>【達成すべき指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水道使用料収納率 99.35%以上（民間委託時目標値） ※R元年度(民間委託前)97.36% R5年度分4/22時点実績 98.5%</li> <li>宮津市水道事業ビジョン（経営戦略）の改定 R7.3月</li> <li>IoT事業に伴う文珠浄水場の休止 R7.3月</li> <li>オープンデータデータ化による来庁者数 R5：200件 ⇒ R6:100件以下</li> </ul> <p>「行かなくてもいい市役所、行政手続きのオンライン化拡大」</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>水道使用料金徴収業務等の民間委託により、効率的に適正かつ公正な水道使用料金の徴収事務の徹底（水道使用料滞納者に対する措置（給水停止措置等）を実施）</li> <li>宮津市水道事業ビジョンの見直し業務の早期発注（第一四半期中）</li> <li>文珠浄水場の運転休止に向けた試験調整（文珠浄水場のろ過量等の調整（ろ過量の削減）、滝上浄水場等関係する浄水場の影響調査（データ取り等））</li> <li>オープンデータの充実、電子申請手続きオンライン化の研究</li> </ol>	
	<p>② 【施策】 安全で安心な水の安定供給を図る。</p> <p>【達成すべき指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>管路の耐震化率 36%（R5末 35%）</li> <li>給水装置（個人所有）の耐震管への転換 10月運用開始</li> <li>与謝野町との水の相互融通に伴う緊急連絡管の整備 年内完成</li> <li>養老・日ヶ谷、波見谷浄水場の水質異常による緊急出動回数削減（継続） R4：年間10回→R5目標：3回→R5実績：0回→R6目標：3回を維持 ※整備終了後のR7から目標：年間1回以下 （2浄水場の整備：R5：養老・日ヶ谷浄水場 R6：波見谷浄水場）</li> <li>水道事業有収率 87.0%（R5：84.0%）</li> </ul>	



	<p>※総合計画数値目標 水道事業有収率 R1：83.41% ⇒ R7：90.00%</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <p>① 水道施設更新工事及び委託業務の早期（上半期）発注      上半期発注率：工事 50%（5/10）      委託 100%（1/1）</p> <p>② 給水装置（個人の申請も含む。）の耐震化に向けた構造・基準等の取りまとめ、市民及び業者への周知</p> <p>③ 養老・日ヶ谷浄水場、波見谷浄水場の水処理工程等の見直しにより、維持管理の効率化を実現（R5に引続き整備を行う。本年度最終年）      ※今年度：波見谷浄水場改修工事発注      昨年度：養老・日ヶ谷浄水場改修工事（繰越し）</p>
6	<p>「清潔で快適な下水道サービス」を持続的・安定的に提供する      SDGs 目標6 安全な水とトイレを世界中に</p> 
運営目標	<p>① 【施策】      下水道事業の健全経営と利便性向上につながる事業運営を推進する。</p> <p>【達成すべき指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道使用料金収納率 99.35%以上（民間委託時目標値）        ※R元年度(民間委託前)：98.82% R6年度分4/22時点実績 97.9%</li> <li>・水洗化(公共下水道接続)の促進 87.0% (R5：86.5%)</li> <li>・オープンデータデータ化による来庁者数 R5：170件 ⇒ R6:85件以下</li> </ul> <p>「行かなくてもいい市役所、行政手続きのオンライン化拡大」</p> <p>※総合計画数値目標 下水道事業水洗化率 R1：83.50% ⇒ R7：88.00%</p> <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <p>① 水道使用料金徴収業務等の民間委託と同様に効率的に適正かつ公正な下水道使用料金徴収事務を徹底（下水道使用料滞納者に対する措置（給水停止措置等）を実施）</p> <p>② 水洗化向上に向け、広報誌、ホームページ等による広報を積極実施</p> <p>③ オープンデータの充実、電子申請手続きオンライン化の研究</p>

7	し尿及び浄化槽汚泥の衛生処理機能の安定を図る。(市民環境部と連携) SDGs 目標6 安全な水とトイレを世界中に	
運営目標	①	<p>【施策】</p> <p>新し尿処理施設（下水道稀釈投入施設）の整備推進を図る。</p> <p>【達成すべき指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ R9 年度の供用開始に向けた新し尿処理施設建設予定地の整備</li> </ul> <p>【指標を実現するための取組・手段等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○支障移転工事(R6年度)に向けた実施設計業務の早期完了           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支障移転内容の協議・調整</li> <li>・ 工事請負費をR6年度補正予算で計上</li> </ul> </li> <li>○地元自治会との早期の協定締結及び地域振興事業の内容について協議を実施（適宜）</li> </ul>